

## 大林組サステナビリティボンド(株式会社大林組第24回無担保社債)レポート

## 1 調達資金の充当状況(2019年6月~2021年3月) (百万円)

項目	金額
調達額(本社債発行額から発行諸費用を除いた金額)	9,943
資金充当額(※1詳細は下記のとおり)	3,863
未充当残高 ※2	6,080

## ※1 資金充当額 (百万円)

グリーンボンド 原則2018における カテゴリー	ソーシャルボンド原 則2018における カテゴリー	対応する SDGs	プロジェクト名称	充当 予定額	2019年度 充当金額	2020年度 充当金額	未充当 残高 ※2
グリーン ビルディング	快適な居住環境の提 供 健康の維持向上 生産性向上	 	大林組 技術研究所本館 テクノステーション ZEB化 (リファイナンス)	400	400	-	
			大林組 次世代型研修施設	5,000	-	340	4,660
-	職業訓練の機会の提 供 災害対応や社会的イン フラを維持・更新 するための担い手の 確保	 	「スーパー職長」および 「スーパーオペレータ ー」に対する資格手当	1,000	211	332	457
「大林組林友会教育訓練 校」の運営費用							
再生可能 エネルギー	-		「水素製造プラント 実証実験」 (一部リファイナンス)	400	400	-	
	-		大月バイオマス発電所	3,143	-	2,180	963
	-		上北小川原 陸上風力発電所				
合計				9,943	1,011	2,852	6,080

※2 未充当残高については現金及び現金同等物にて管理

## 2 環境改善効果

### (1) グリーンビルディング

#### ア 大林組技術研究所本館テクノステーション ZEB 化

- ・2013 年度に ZEB 対応を実施、2019 年 3 月に BELS 認証制度で最高ランク（☆☆☆☆）及び ZEB の評価を取得

#### イ 大林組次世代型研修施設

- ・2020 年 10 月に LEED 認証のプレ認証（ゴールド）を取得（竣工後の 2022 年夏頃に認証取得予定）

### (2) 再生可能エネルギー

#### ア 水素製造プラント実証実験

- ・2021 年 3 月に水素製造プラント（1.5MW、22.5kg-H<sub>2</sub>/hour）が完成し、水素の製造を開始

#### イ バイオマス発電事業及び風力発電事業

プロジェクト名称	稼働開始	出力 (MW)	年間発電量 (MWh)		CO <sub>2</sub> 削減効果 (t-CO <sub>2</sub> ) ※4	
			2019 年度	2020 年度	2019 年度	2020 年度
大月バイオマス発電所	2018 年 12 月	14.5	※5		※5	
上北小川原陸上風力発電所	2022 年 1 月 予定	最大 20.4 ※3	※5		※5	

※3 最大出力が 20.4MW に決定

※4 CO<sub>2</sub> 削減効果 = 年間発電量実績 (kWh) × 電気事業者別 CO<sub>2</sub> 排出係数 (kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

(電気事業者別 CO<sub>2</sub> 排出係数 [出所：環境省])

※5 年間発電量及び CO<sub>2</sub> 削減効果は、サステナビリティボンドによる調達資金の両発電所への充当以降に報告予定 (2021 年度に充当完了予定)。なお、大月バイオマス発電所は 2018 年 12 月に稼働開始し運転中。

## 3 社会的インパクト

### (1) 快適な居住環境の提供、健康の維持向上、生産性向上

#### ア 大林組技術研究所本館テクノステーション ZEB 化

- ・2017 年 11 月、WELL 認証（ゴールド）を取得

#### イ 大林組次世代型研修施設

- ・2020 年 9 月に WELL 認証のプレ認証を取得（竣工後の 2022 年夏頃に認証取得予定）

### (2) 職業訓練の機会の提供、災害対応や社会的インフラを維持・更新するための担い手の確保

#### ア 「大林組林友会教育訓練校」の運営費用

- ・2019 年度における教育訓練校の受講者数：74 人
- ・2020 年度における教育訓練校の受講者数：44 人

#### イ 「スーパー職長」および「スーパーオペレーター」に対する資格手当

- ・2019 年度におけるスーパー職長およびスーパーオペレーターに対する資格手当支給人数：456 人
- ・2020 年度におけるスーパー職長およびスーパーオペレーターに対する資格手当支給人数：492 人

以上